

授業科目名	教育方法論		担当教員名	石村 万寿美
必修/選択	必修(幼稚園教諭2種免許/保育士資格)		開講学年・学期	2年 後期(年間開講数 2講座)
科目区分	教職・保育に関する科目		単位数	2単位(30時間)
施行規則に定める科目区分等	道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談に関する科目-教育の方法及び技術(情報機器及び教材の活用を含む。) 保育の内容・方法の理解に関する科目(別表1)		授業方法/担当形態	講義 / 単独
			特記事項	※実務経験のある教員等による授業 幼稚園園長、幼稚園教諭として長年にわたる実務経験を活かして、具体的な実践記録を紹介して授業を行っている。 ※「保育内容の理解と方法」の指導内容を含む
授業の到達目標	<p>1-教育の方法及び技術(情報機器及び教材の活用を含む。)</p> <p>(1)教育の方法論:これからの社会を担う子供たちに求められる資質・能力を育成するために必要な教育の方法を理解する。</p> <p>①教育方法の基礎的理論と実践を理解している。</p> <p>②これからの社会を担う子供たちに求められる資質・能力を育成するための教育方法の在り方(主体的・対話的で深い学びの実現など)を理解している。</p> <p>③学級・児童及び生徒・教員・教室・教材など授業・保育を構成する基礎的な要件を理解している。</p> <p>④学習評価の基礎的な考え方を理解している。</p> <p>※幼稚園教諭は「育みたい資質・能力と幼児理解に基づいた評価の基礎的な考え方を理解している。」</p> <p>(2)教育の技術:教育の目的に適した指導技術を理解し、身に付ける。</p> <p>①話法・板書など、授業・保育を行う上での基礎的な技術を身に付けている。</p> <p>②基礎的な学習指導理論を踏まえて、目標・内容、教材・教具、授業・保育展開、学習形態、評価規準等の視点を含めた学習指導案を作成することができる。</p> <p>(3)情報機器及び教材の活用:情報機器を活用した効果的な授業や情報活用能力の育成を視野に入れた適切な教材の作成・活用に関する基礎的な能力を身に付ける。</p> <p>①子供たちの興味・関心を高めたり課題を明確につかませたり学習内容を的確にまとめさせたりするために、情報機器を活用して効果的に教材等を作成・提示することができる。</p> <p>※幼稚園教諭は「子供たちの興味・関心を高めたり学習内容をふりかえったりするために、幼児の体験との関連を考慮しながら情報機器を活用して効果的に教材等を作成・提示することができる。」</p> <p>②子供たちの情報活用能力(情報モラルを含む)を育成するための指導法を理解している。</p> <p>2-保育内容の理解と方法</p> <p>(1)子どもの心身の発達や子どもを取り巻く環境等と保育所保育指針に示される保育の内容を理解した上で、子どもの生活と遊びを豊かに展開するために必要な知識や技術を実践的に習得する。</p> <p>(2)保育における教材等の活用及び作成と、保育の環境の構成及び具体的展開のための技術を実践的に習得する。</p>			
授業の概要	教育の方法・技術に関する理論と実践について学ぶ中で、これからの社会を担う子どもたちに求められる資質・能力を育成するために必要な、教育の方法、教育の技術、情報機器及び教材の活用に関する基礎的な知識・技能を身に付ける。			
テキスト	「幼児教育の方法」小田豊、青井倫子著(北大路書房)			
参考書・参考資料等	「平成29年告示 幼稚園教育要領 保育所保育指針 幼保連携型認定こども園教育・保育要領 原本」(株式会社チャイルド本社)			
成績評価の方法	○授業意欲、態度:20% ○提出物:20% ○定期試験:60%にて総合評価			
授業計画	授業の内容			到達目標番号
第1回	○オリエンテーション ①幼児期にふさわしい教育の方法 ・保育という方法 ・環境を通しての教育 ・遊びを通しての指導			(1)-①,(1)-②,(1)-③, (2)-①
第2回	①幼児期にふさわしい教育の方法 ・遊びを通しての指導			(1)-①,(2)-①
第3回	②幼児の主体的な生活を基盤とする保育 ・幼児の主体性の育成と「見えない保育」 ・子どもの主体性と保育者の意図			(1)-①,(1)-③,(2)-①
第4回	②幼児の主体的な生活を基盤とする保育 ・保育者のさまざまな役割			(2)-①,(2)-②,(3)-①, (3)-②
第5回	③遊びのなかの学びをはくむ保育 ・遊びのなかの学びを規定するもの ・感じる・表現する遊び ・気づく・試す・考える遊び			(1)-②,(1)-③,
第6回	③遊びのなかの学びをはくむ保育 ・友達と関わって遊ぶ ・共通の目的を見いだし協同する遊び ※情報機器あるいは視覚教材の使用			(1)-③,(1)-④,(3)-①, (3)-②
第7回	④方法としてのさまざまな保育形態 ・保育形態のタイプ ・チーム保育			(1)-①,(1)-②
第8回	⑤保育における評価 ・保育における評価とは			(1)-②,(1)-④
第9回	⑤保育における評価 ・保育の省察と記録			(1)-③,(1)-④
第10回	⑥幼児期の教育と小学校教育の連携 ・小学校との接続・連携 ・遊びと、生活科、総合的な学習			(1)-②,(2)-②,
第11回	⑥幼児期の教育と小学校教育の連携 ・教科の学びの萌芽に満ちた遊び ・円滑な接続のための幼少連携			(1)-③,(2)-②,
第12回	⑦家庭や地域と連携した保育 ・保護者とのパートナーシップ			(1)-②,(2)-②

授業計画	授業の内容	到達目標番号
第13回	⑦家庭や地域と連携した保育 ・地域の資源や教育力を活かす保育	(1)-③,(2)-①,(2)-②,
第14回	⑧保育におけるカウンセリングマインド ・基本的な生活習慣の育ちを支援する	(1)-①,(1)-④,(2)-②
第15回	⑧保育におけるカウンセリングマインド ・子どもの健やかな育ちを支援する	(1)-②,(2)-①,(2)-②
定期試験	筆記試験	